|  |
| --- |
| **１０２１．移動届** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＶＭＲ | 移動届 |

# 業務概要

「船舶基本情報登録（ＶＢＸ）」業務または「船舶基本情報等事前登録（ＷＢＸ）」業務により登録された内容に基づき、シフト情報の登録または移動届を行う。

また、シフト情報の訂正、移動届の訂正または取消しを可能とする。

なお、「移動届等（ＷＭＲ）」業務で登録した情報の訂正または取消しを可能とする。

# 入力者

船会社、船舶代理店

# 制限事項

①危険物は最大３００品目とする。

②１移動届に対する訂正は、最大９９回とする。

# 入力条件

### 入力者チェック

#### システムに登録されている利用者であること。

#### 登録の場合でかつ入力者が船会社の場合は、入力された船舶コードに対する船舶ＤＢ上の船舶運航者と同一会社であること。

#### 登録の場合でかつ入力者が船舶代理店の場合は、当該港において入力された船舶コードに対する船舶ＤＢ上の船舶運航者と受委託関係がシステムに登録されていること。ただし、港単位でのみ受委託関係が登録されている場合を除く。

#### 訂正または取消しの場合は、登録者と同一であること。

### 入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

### 船舶ＤＢチェック

登録・訂正の場合は、以下のチェックを行う。

①入力された船舶コードが船舶ＤＢに存在すること。

②削除の旨が登録されていないこと。

③外航船として登録されていること。

### 移動届ＤＢチェック

* + 1. 訂正の場合

#### 入力された移動届提出番号が移動届ＤＢに存在すること。

#### 入力者は移動届の届出を行った利用者と同一であること。

#### 船舶コード、本邦寄港地コード及び本邦寄港順序が変更されていないこと。

#### 最新の移動届提出番号であること。

* + 1. 移動届の取消しの場合

#### 入力された移動届提出番号が移動届ＤＢに存在すること。

#### 入力者は移動届の届出を行った利用者と同一であること。

#### 最新の移動届提出番号であること。

### 入港届ＤＢチェック

シフト情報の登録、訂正の場合は、以下のチェックを行う。

* + - 1. 入力された入港届提出番号が入港届ＤＢに存在すること。
      2. 税関に対する入港届が提出されていること。
      3. 最新の入港届提出番号であること。
      4. 入港届が取り消されていないこと。

# 処理内容

### 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。

（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

### 移動届提出番号の払出し処理

* + 1. 登録の場合

移動届提出番号をシステムで払い出す。

* + 1. 訂正の場合

移動届提出番号に対する枝番をシステムで払い出す。

### 移動届ＤＢ処理

* + 1. 登録・訂正の場合

#### ①システムで払い出された移動届提出番号に対する情報を移動届ＤＢに登録する。

#### ②入力された内容を登録する。

（Ｂ）移動届の取消しの場合

入力された移動届提出番号に対する移動届ＤＢに当該情報の取消しが行われた旨を登録する。

（４）港湾関連ＤＢ処理

　　　（Ａ）登録・訂正の場合

システムで払い出された移動届提出番号に対する情報を港湾関連ＤＢに登録する。

　　　（Ｂ）移動届の取消しの場合

　　　　　　入力された移動届提出番号に対する情報を港湾関連ＤＢに登録する。

　（５）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

# 出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 移動届控情報 | 港長への移動届の場合 | 入力者 |
| 移動届回答情報 | 港長が移動届を確認し、入力者に対して回答を行った場合 | 入力者 |

# 特記事項

船舶ＤＢ上の船舶名称切替年月日＞システム年月日の場合は、訂正前船舶名称を移動届時の船舶名称

とする。